

停電時のシステム起動方法

- 太陽光による発電がなく、蓄電池からの電力供給もなく、かつ、V2H スタンドの充放電コネクタがロックされていない状態（アンロック）で停電すると、システムが停止します。

この際、「アクセサリケーブル※を用いて EV から給電する」または「EV の給電口に充放電コネクタを差し込む」のいずれかを行うことでシステムを起動できます。これを停電時起動と呼びます。

※アクセサリケーブルは V2H スタンドの商品に同梱をしています。

- 自立起動時の EV 側の設定については、EV の取扱説明書をご確認ください。

- EV の電力でのシステム起動方法の説明

V2H スタンドの品番によって、停電時の起動方法が異なります。

次ページ以降に V2H スタンドの取扱説明書の一部を抜粋します。

- ・ **VCP601 の場合**：次ページ以降の**手順 1 から手順 6 の順に行ってください。**
- ・ **VCP602 の場合**：充放電コネクタ起動が可能な EV は次ページ以降の**手順 1 と手順 4 を行ってください。**

充放電コネクタ起動が可能な EV は下記リンクでご確認ください。
[スマート PV エボ V2H スタンド 対応車種一覧](#)

EVの電力でシステムを起動する

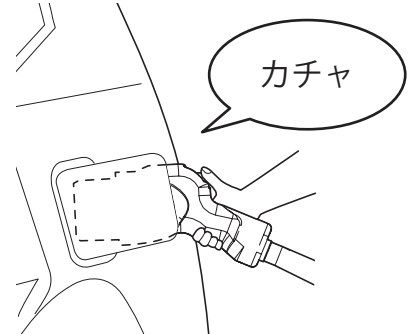
太陽光による発電がなく、蓄電池からの電力供給もなく、かつ、V2Hスタンドの充放電コネクタがロックされていない状態(アンロック)で停電すると、システムが停止します。

このようなときは、アクセサリケーブルを用いてEVから給電することで、システムを起動できます。これを「停電時起動」と呼びます。

1 EVの給電口に 充放電コネクタを差し込む

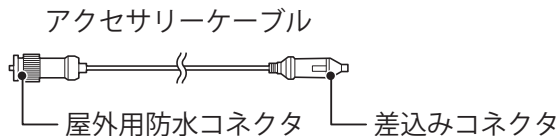
詳しい接続方法は 10 ページを参照してください。
既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、
手順2 へ進んでください。

※ システムを起動させるための制御用電源供給機能(3 番ピン起動)を持つEVは、アクセサリケーブルの接続は不要ですので、手順4に進んでください。(そのあとの手順5、6も不要です)
EV側の設定については、EVの取扱説明書をご確認ください。
制御用電源供給機能を持つEVは、対応車種一覧のホームページで確認ください。

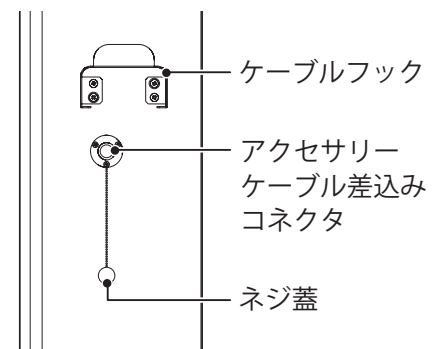


2 本体右側面にあるアクセサリケーブル 差し込みコネクタのネジ蓋を外し、 付属のアクセサリケーブルを差し込む

ネジ蓋は反時計回りに回して外してください。
アクセサリケーブルの屋外用防水コネクタ側を差し込んでください。



本体右側面



● 雨天時などは、アクセサリケーブルのコネクタ(屋外用防水コネクタおよび差し込みコネクタ)に水分が付かないようにご注意ください

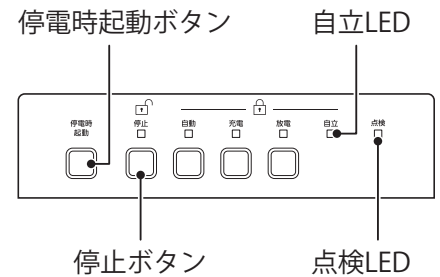
3 アクセサリケーブルの差し込みコネクタをEVの 電源ソケットに差し込み、EVのソケットスイッチをONにする

アクセサリケーブルはEVの窓に通してください。
電源ソケットの位置、アクセサリケーブルの差し込み方、およびソケットスイッチの位置・操作方法については、EVの取扱説明書をご確認ください。

4 操作部の停電時起動ボタンを押す

EVからの放電が開始されるとV2Hスタンドが起動し、自立LEDが赤色に点滅します。

- 点検LEDが点滅している場合は、停電時起動を実施できない場合があります。停止ボタンを5秒以上長押しして点検LEDの点滅を消してから、再び停電時起動ボタンを押してください。それでも実施できない場合は、EVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリケーブルを取り外して、V2HスタンドのLEDが消灯するまで(3分程度)待ってから、やり直してください。



5 自立LEDの点灯(赤色)を確認したあと、EVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリケーブルを取り外す

システムが起動し、ネットリモコンで操作可能になります。

停電中は自立運転を行います。

自立運転の詳しい説明は多機能パワーコンディショナ取扱説明書24～30ページをご確認ください。

- EV側の電力(補機バッテリー=12V/バッテリー)を消費しますので、起動後はEVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリケーブルを取り外してください。

6 アクセサリケーブル差込みコネクタのネジ蓋を確実に閉める